

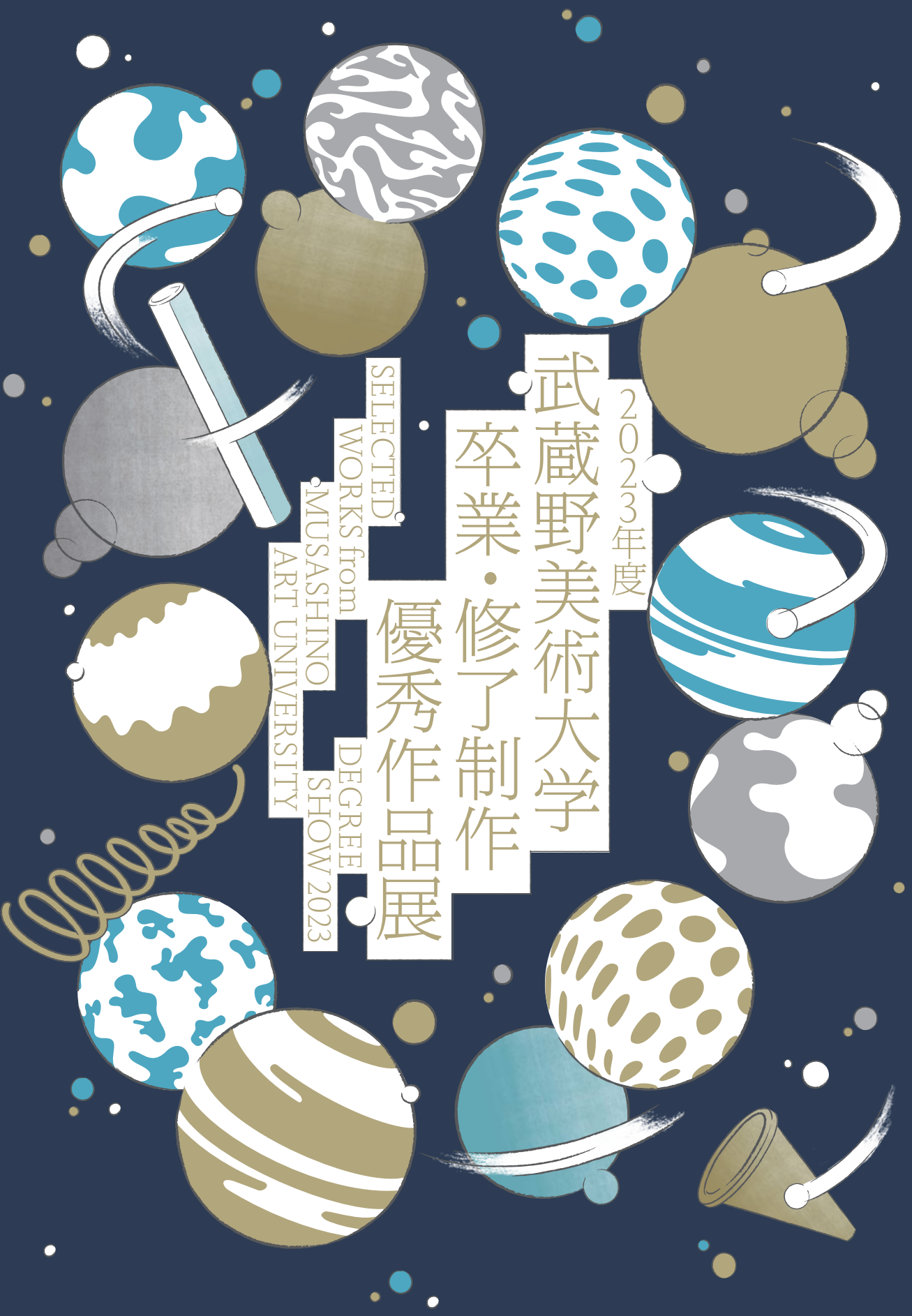
2023年度

武蔵野美術大学

卒業・修了制作

優秀作品展

SELECTED
WORKS from
MUSASHINO
ART UNIVERSITY
DEGREE
SHOW 2023



Well

日本画学科

001 → [アトリウム1](#)

榎本 伊吹 ENOMOTO Ibuki
『現象の仕器』
雲肌麻紙、水干絵具、岩絵具、タイル、目地材、木材
1897×2197×497

002 → [展示室3](#)

川口 茜 KAWAGUCHI Akane
『臆病者の行進』
高知麻紙、岩絵具、蛍光顔料、水干絵具
1940×5880

003 → [展示室3](#)

長塚 優菜 NAGATSUKA Yuna
『ぬくまり ひえて、考える』
岩絵具、水干絵具、銀箔、和紙
2050×2650

004 → [展示室3](#)

吉田 真納タルーラ
YOSHIDA Mana Tallulah
『To think with our brains | about
the end of the body | and the
Eden that will become | to feel our
cosmos』
キャンバス、アクリル絵具、岩絵具、水干絵具、砂
3000×750×1000 | 3000×750×1000 | 1300×3500×1000 |
500×4000×400、1000×4000×400

油絵学科[油絵専攻]

005 → [展示室3](#)

籠田 沙希 KAGOTA Saki
『痛畳 | 痛畳』
ミクストメディア
2280×2280×1320 | 1300×600×1100

006 → [展示室3](#)

楠見 遥 KUSUMI Haruka
『日没後に会える』
ミクストメディア
可変

007 → [展示室3](#)

高橋 美紗貴 TAKAHASHI Misaki
『遊 | 汀 | 流』
パネル、油絵具
1840×930 | 1030×1840 | 810×540

008 → [展示室3](#)

仲村 浩一 NAKAMURA Hirokazu
『房総半島勝景奇覧 | 千葉海岸線砂旅行』
キャンバス、アクリル絵具、砂
2300×4860 | 2300×4860

009 → [展示室3](#)

榎木 マリア NARAKI Maria
『夜の星』
キャンバス、油絵具
3400×7000

010 → [展示室3](#)

藤原 彩芽 FUJIWARA Ayame
『ズンズン青年～お散歩日和～ | ふわふわ
青年～森の船～』
シナベニヤ、油絵具
2640×1700 | 1650×2640

011 → [展示室3](#)

熊文丁 XIONG Wending
『断章取義の快楽 | ライブ現場よりも、ド
アの外で失真した音楽に身を置きたい | 阿
呆船 | Claudia, Wilhem R. and me |
無題』

キャンバス、木炭、オイル、油絵具、インク、アクリルメディウム、
スプレー、アクリル絵具
1620×1120 | 1620×1140 | 1620×1120 | 2050×1830 | 455×
380

012 → [展示室3](#)

余 佺蔚 YU Quanwei
『storyI | 靴底の落下、3回 | くつ#1:ノッ
トネット / きれいな裏地 鳥の中にある二
つのもの | くつ#2:鳥を見てその方向を確
かめ合う。 | くつ#3:follow the move |
untitled (two walking sticks)』
ミクストメディア
可変

油絵学科[版画専攻]

013 → [展示室3](#)

齋藤 翼 SAITO Tsubasa
『カメは君のそばに』
プロジェクター、段ボール、アクリル、木材、ハニーパネル、スク
リーン、リトグラフ、木版画、モノタイプ
2000×2700×3700

014 → [展示室3](#)

宮坂 祐理 MIYASAKA Yuri
『mermaid cage』
紙、スタイロフォーム、木材、リトグラフ
可変

彫刻学科

015 → [アトリウム1](#)

何 梓羽 HE Ziyu
『情報は常に不足している、だからミニ車を
回そう』
鉄、真鍮、塩化ビニールパイプ、ワイヤメッシュ、結束バンド、電
子計器、ポータブルバッテリー、タブレット
2400×2000×2000、映像:3分

016 → [アトリウム1](#)

齊藤 美帆 SAITO Miho
『non objective object #3 | non
objective object #7 | non objective
object #8』
FRP、アジャスターボルト、ステンレス、シリコンゴム、アルミ
ニウム箔、アクリル板
1450×1200×450 | 580×700×2200 | 430×760×760

017 → [アトリウム1](#)

矢部 もなみ YABE Monami
『Un cheval, seul, au loin』
樟
1900×700×700、1500×700×600、1500×600×600、1300
×500×400、750×750×500

視覚伝達デザイン学科

018 → [展示室5](#)

甘利 早 AMARI Saki
『音楽のかたち—東洋的な視覚表現の試み
—』
パネル、紙、PC
タペストリー:1500×7000、本:369×270、年表:369×270、映
像:2分50秒

019 → [展示室5](#)

雨田 ライン AMEDA Rain
『色字共感覚からみる知覚情報の複雑さ』
紙、スチレンボード、糸、PC
本:297×210(227頁)、平面:800×720×2、映像:8分10秒

020 → [展示室5](#)

石橋 明奈 ISHIBASHI Haruna
『イロいろ』
布、紙、塩化ビニールシート、パッチワーク
パッチワークキルト:1167×1167(3点)、本:180×180(3点)、ボ
スター:670×670(3点)

021 → [展示室2](#)

伊藤 有沙 ITO Arisa
『つるがしま物語—地域の持つ潜在的独自
性の可視化—』
紙
パネル:728×1030(10枚)、絵本:257×182(10冊)、本:287×
210

022 → [アトリウム2](#)

岩切 美朋 IWAKIRI Miho
『復元画制作の過程の面白さ 正確さの追
求とロマン』
木製パネル、アクリル絵具、石膏粘土、発泡スチロール、鉛筆
絵画:2730×1200、ポスター:600×1800、420×297、模型:
500×500×2500、本:210×297、スケッチ集:210×297

023 → [アトリウム2](#)

小高 綾華 ODAKA Ayaka
『アンダー・ザ・シー—海に沈んだ世界の生
物図鑑—』
紙、スチレンボード、木
本:257×182、パネル:1030×1456(6点)、600×1800(3点)

024 → [展示室6](#)

坂本 倫久 SAKAMOTO Michihisa
『perspective in motion and space』
ディスプレイ
可変

025 → [展示室4](#)

サクサク sakusaku
『視度 110 パーソナリティ』
フリス、レジ、紙粘土、スチレンボード、PC
ぬいぐるみ:約200×100(110点)、パネル:841×594、映像:5分
27秒

026 → [展示室5](#)

草若 sojaku
(西島 若葉 NISHIJIMA Wakaba)
『線刻』
青田石、布、木、PLT、和紙、手彫り、シルクスクリーン、レーザー
加工、3Dプリンター
青田石:150×30×30、シルクスクリーン:1800×900

027 → [展示室6](#)

兵庫 瑞姫 HYOGO Mizuki
『周囲の目と私』
プロジェクター、アクリル板、ディスプレイ等、3Dホログラム
ホログラム映像:15秒(600×300×300)、17秒(600×500×
500)、17秒(600×300×300)、15秒(600×500×500)、12秒
(600×700×700)、15秒(600×500×500)、30秒(500×1200
×700)

工芸工業デザイン学科
[クラフトデザインコース]028 → [展示室4](#)

士林 SHI LIN
(林 士琳 LIN Shilin)
『百器夜行』
陶、手捻り、タタラ成形
[最小]120×110×110・[最大]380×170×140(25点)

029 → [展示室4](#)

小林 椿 KOBAYASHI Tsubaki
『もりには かみさまの たましが こもっ
ている』
着物
絹、シルクスクリーン捺染
1650×1380(4点)

工芸工業デザイン学科
[インダストリアルデザインコース]030 → [アトリウム2](#)

岩片 智 IWAKATA Tomo
『ROLE』
PLA、3Dプリント
330×470×1040

031 → [アトリウム 2](#)
菅野 楓大 KANNO Futa
『聞煙—香の構造と形状による煙の変化の研究』
峰 | 絹 | 雲 | 洞 | 鱗』
たぶ粉、PLA、ディスプレイ、プレス成形、3Dプリント
本体:40×30×30 | 60×20×20 | 56×50×50 | 50
×20×20 | 58.8×48.5×48.5、型:75×70×70 | 100
×70×70 | 90×80×80 | 80×50×50 | 80×80×80
映像:1分30秒

032 → [展示室 2](#)
野中 隆太郎 NONAKA Ryutaro
『F-FARM:大都市での新たな農業のあり方
の提案』
MDF、ステンレス、PLA、ほか
2100×3600×1500

工芸工業デザイン学科 [インテリアデザインコース]

033 → [展示室 2](#)
遠井 友紀乃 TOI Yukino
『本丸みやこうつし』
スチレンボード、紙、バルサ、ヒノキ
170×1050×1170

034 → [アトリウム 2](#)
三宮 駿之介 SANNOMIYA Shunnosuke
『Calm Chair』
竹
820×450×550、820×450×550、ほか

空間演出デザイン学科

035 → [展示室 6](#)
オ チェヒョン OH Chaehyeon
『“Obscurity”』
ショー、パフォーマンス
皮、布、紙、ほか
8分24秒

036 → [図書館テラス](#)
小澤 拓生 OZAWA Hiroki
『無主物の終点』
廃材(木材、竹、金属、タイヤ、ほか)
可変

037 → [展示室 2](#)
佐藤 明日香 SATO Asuka
『Flux House』
スチレンボード、塩ビ板、紙、カスミソウ、木材、ビス、ほか
ポスター:914×645(4枚)、プレゼンボード:400×1000、模型:
400×520×520、150×300×300

038 → [展示室 5 前](#)
白木 優羽 SHIRAKI Yu
『charming remnants』
繊維素材、PET樹脂
可変

039 → [展示室 6](#)
園田 瑞稀 SONODA Mizuki
『reflection』
ショー、パフォーマンス
PVC、布
6分23秒

040 → [展示室 6 前](#)
谷 太志 TANI Taishi
『平行』
木材、紙、写真
1900×2000×6000

041 → [展示室 4 前](#)
谷口 茉広 TANIGUCHI Mahiro
『隣の芝生は青いのか』
ショー、パフォーマンス
便座、カスターネット、ほか
6分25秒

042 → [展示室 6](#)
ふたまたつづみ tsuzumi futamata
『あたたかな任務』
ストッキング、綿
可変

043 → [展示室 2](#)
馬 李皓淳 MA Lihaochun
『TSUI BISCUITS』
木、金属、段ボール、布、ススキ
空間:4000×4000×6000、映像:3分16秒、4分20秒、0分42秒、
本:240×170

044 → [展示室 5 前](#)
松井 友里恵 MATSUI Yurie
『ATID』
木材、毘布、土、布
可変

045 → [展示室 5 前](#)
明和 峻矢 MEIWA Shunya
『地球の肌』
紙、木材、石、プラスチック、プロジェクター
庭園:可変、映像:5分40秒、写真:148×100

046 → [展示室 6](#)
YANG Sehwan
『거리코리』
木材、アラウン管テレビ、アクリル、ミラーシート、ハーフミラー
シート
4000×6000×4000、映像:2分50秒

建築学科

047 → [展示室 2](#)
飯島 裕也 IJIMA Yuya
『BE A GOOD SCENERY(S)』
スチレンボード、スノーマット、チップボール、塩ビ板
4500×2000×4900

048 → [図書館テラス](#)
田代 綾乃 TASHIRO Ayano
『jelly space』
ゼラチン、水飴、水
1600×2000×2000、320×905×905、50×1810×1810、パネ
ル:457×1020

049 → [展示室 2](#)
山下 咲香 YAMASHITA Sayaka
『誰かの生活』
スチレンボード、スノーマット、チップボール、段ボール、
アクリル絵具、モデリングペースト
パネル:2000×3570、模型:400×1900×1300

050 → [展示室 2](#)
吉村 優里 YOSHIMURA Yuri
『木密の寓話』
スチレンペーパー、黄ボール紙、スノーマット
1800×1800×1800

基礎デザイン学科

051 → [アトリウム 2](#)
蔣 昊 JIANG Hao
『へその緒』
紙、樹脂、ガラス、CTスキャン、レーザーカット、3Dプリント、
型吹きガラス
300×800×700、400×700×600、100×800×700、300×
500×600

052 → [展示室 6](#)
芹澤 碧 SERIZAWA Aoi
『Is there そこにいる』
水、アクリル板
1000×700×700(2点)、映像:1分30秒

053 → [アトリウム 2](#)
弦巻 朱音 TSURUMAKI Ayane
『品種改良』
紙、石粉粘土、アクリル絵具
本体:約500×500×500(4点)、パネル:3100×800(4点)

054 → [展示室 6](#)
保科 千晶 HOSHINA Chiaki
『言葉を覗く』
エポキシ樹脂、インスタントレタリング
可変

055 → [展示室 6](#)
水城 尚央子 MIZUKI Naoko
『Ch.』
紙、糸、水彩絵具、色鉛筆、シルクスクリーン、手縫い、ほか
297×210、210×148(2冊)

芸術文化学科

056 → [展示室 6](#)
LEE Yubin
『食口』
240×210×20

057 → [展示室 6](#)
黄 芝秀 HWANG Jisoo
『土田麦懼の女性へのまなざし—《平牀》を
中心に—』
論文
84頁(35,877字)

デザイン情報学科

058 → [展示室 2](#)
宇野 花音 UNO Kanon
『まだ知らない町並み旅』
紙
本:210×148(168頁)

059 → [椅子ギャラリー 前](#)
大森 星楽 OMORI Seira
『拡散—SNS上での視線移動の可視化—』
マイコンボード、樹脂粘土、UVレジン、MDF、3Dプリント
1820×2730

060 → [美術館ホール 前](#)
郡司 麻衣 GUNJI Mai
『離散性の中で生まれる連鎖—海洋生態を
多重分割法によって表現したピクセルア
ート—』
アニメーション
ディスプレイ、ピクセルアート
3分00秒

061 → [展示室 4](#)
近藤 穂季 KONDO Hotoki
『GTP工房★フォーティーセブン』
スチレンボード、アクリル、ディスプレイ
本:210×148、パネル:210×297、297×420、420×594、1630
×680、1610×640、アクリルスタンド:70×70、映像:3分33秒

062 → [展示室 4](#)
佐藤 凪咲 SATO Nagisa
『便器旅行』
写真紙、塩ビ管、木材、陶器
4000×3500×3500

クリエイティブイノベーション学科

063 → (アトリウム1)
SEUNGMIN
『生成AIと不気味の谷:不気味の崖っぷちで
GEN AI AND THE UNCANNY VALLEY |
POCKET | IMAGES | MOVING
IMAGES | MR.CORN HEAD』
紙、ディスプレイ、PLA
本:297×210(2冊)、ポスター:297×210、映像:48秒、立体:265
×215×220

064 → (椅子ギャラリー前)
滝沢 侑花 TAKIZAWA Yuka
『左利き技あり展一日常生活における左利
きの工夫—
Mission1定規で長さを測る | Mission2
服をハンガーに掛ける | Mission3 マー
カーで線を引く | Mission4 扉から物を
取る | Final Mission キッチンを使いこ
なす』
アクリル、MDF、スチレンボード、紙、カッティングシート、タ
ブレット、スタイラスペン、コンピュータプログラム
900×600×600 | 1510×350×350 | 900×600×600 | 900~
1200×30×120 | 900~1200×30×120

065 → (椅子ギャラリー前)
2001Y
(田村 義希 TAMURA Yoshiki)
『Motive Revealer : 会話から下心をリ
アルタイムに特定するAI』
ディスプレイ、プロジェクター、タブレット
3000×5330×3360

066 → (展示室4)
橋口 純奈 HASHIGUCHI Junna
『CUBE-Music Communication Tool』
PLA、IMUセンサー、スピーカー、MP3プレーヤー、バッテリー
など、3Dプリント、コンピュータプログラム
90×90×90(3点)

067 → (展示室2)
福原 稔也 FUKUHARA Naruya
『Botanical Bomb』
樹脂、アクリル、紙
パネル:910×1820、910×1300、910×1300、模型:300×160×
160、映像:4分38秒

映像学科

068 → (美術館ホール(上映))
奥田 菜睦 OKUDA Nachika
『きつねが嫁にいった日』
映像
6分50秒

069 → (美術館ホール(上映))
何 英傑 HE Yingjie
『分離の予感』
映像
6分50秒

070 → (展示室3)
藤井 さくら FUJII Sakura
『石が降る』
印刷紙、C-print
可変

美術専攻[日本画コース]

071 → (展示室3)
吉田 紋 YOSHIDA Aya
『忘れじの』
木製パネル、雲肌麻紙、岩絵具、銀箔、墨、木炭
1620×3909

美術専攻[油絵コース]

072 → (アトリウム1)
井上 ひかり INOUE Hikari
『works
work (unstable) | work (multiple
blue) | work (pigeon droppings) |
生活の中のスナップ No.8 painting
(039米>11<) | drawing (omochitsuki)
| work (HINODE 030 ⇄) | drawing
(027⇄⇄) | work (clear hose) | drawing
(yellow rope)』
ホース、脚立、布、木材、流し用調理台、紐、ストレッチロープ、シ
ャワーカーテン、クネクネフック、ボンド、罎
3100×2400×450 | 2100×920×470 | 2450×1680×370 | 465
×530×50 | 1320×1450×150 | 210×200×110 | 360×340×
170 | 370×250×200 | 400×700×50 | 320×150×110

073 → (展示室3)
岡村 あい子 OKAMURA Aiko
『自我 | 夢現』
アニメーション
プロジェクター
3分29秒 | 3分0秒

074 → (展示室3)
鹿野 結菜 SHIKANO Yuina
『Japonesia』
木材、ベニヤ板、アクリル絵具、火山灰、ほか
可変

075 → (展示室3)
張 洲睿 ZHANG Zhouhui
『the last sunset | 夢の中の安眠 | 永遠
に帰れない故郷 | 旅人の夢』
キャンバス、パネル、油絵具
1303×1940 | 1818×2273 | 1620×2606 | 1303×1940

美術専攻[版画コース]

076 → (展示室3前)
大川 菜々子 OKAWA Nanako
『日々の粒』
和紙、水性木版
[最小]215×215-[最大]545×727(42点)

美術専攻[彫刻コース]

077 → (アトリウム1)
伴 佳七子 BAN Kanako
『まぶたの裏にて、ひゅっとちる
粒をはなつほし | ぱっとあつめて、またひ
かる』
板御影石、赤御影石
320×820×330 | 350×1300×960

デザイン専攻
[視覚伝達デザインコース]

078 → (展示室4)
伊林 和香 IBAYASHI Nodoka
『多角的な視点を獲得するための思考と図
の相互作用—多面体を利用した対話による
相互理解の試み—』
紙、PC
年表:2000×3620、立体作品:約100×100×100(6個)、映像:38
分11秒、論文:139頁(81,115字)

079 → (展示室4)
楊 智心 YANG Zhixin
『江戸中後期の博物図譜における視覚表現
—栗本丹洲の『千虫譜』を中心に—』
紙、アクリル、粘土、木板
年表:1000×1900、パネル:500×420(3枚)、模写:210×150(5点)、
模型:210×297×297、論文:297×210、図録小冊子:148×210

080 → (展示室5)
羅 軼 LUO Yi
『手で書かれたものの非言語情報と意味伝
達についての研究—手紙を中心に—』
本:297×210、パネル:1100×1800

081 → (展示室4)
李 嘉良 LI Jialiang
『近現代中国における文字の表示システム
について—歴史的経緯を概観する』
論文:106頁(38,583字)、パネル:1200×2340

082 → (展示室4)
劉 逸威 LIU Yiwei
『版の絵からグラフィックデザインの萌芽
—版画の諸相と山本鼎の美術活動をめぐっ
て—』
本:157×248、年表:2000×4000、ポスター:420×594

デザイン専攻
[工芸工業デザインコース]

083 → (アトリウム2)
浅野 日向子 ASANO Hinako
『しなやかに、かたがちが脈打つ』
綿、木製パネル、シルクスクリーン
910×910(9点)

084 → (展示室3前)
小平 秋果 KOHEI Shuka
『生活』
銀、銅、アルミ、七宝釉、磁器釉、鍍金、彫金、七宝焼、磁器焼
85×110×110、ほか(30点)

085 → (アトリウム2)
志村 華菜 SHIMURA Kana
『fellings』
ガラス、ホットワーク、スランピング、フュージング、キャストイ
ング
250×910×600、250×600×300、300×500×300、250×700
×250、200×700×450、300×400×350、300×550×230

デザイン専攻
[空間演出デザインコース]

086 → (展示室3)
結城 真央 YUKI Mao
『かみさまを殺すための旅を行って』
演劇
120分

デザイン専攻[建築コース]

087 → (展示室2)
鈴木 正義 SUZUKI Seigi
『埋立と埋葬のはざままで』
スチレンボード、チップホール、ほか
模型:750×2730×910

デザイン専攻[基礎デザイン学コース]

088 → (展示室2)
呉 笛 WU Di
『disappear, appear』
3Dプリント
樹脂、紙、ディスプレイ
立体:800×2000×4000、本:210×297、動画:約10分

089 → 展示室 6

ジャン カイシ JIANG Kaixi

『A drop of water』

水、紙、樹脂、MDF、ステンレス、ディスプレイ
可変

大学院造形構想研究科

造形構想専攻
[クリエイティブリーダーシップコース]

090 → アトリウム 2

新井 恒陽 ARAI Koyo

『Self-Nudge Technology : 人の意思決定を引き出すための情報技術のあり方に關する研究』

Yaruki Switch Home | ScrollMate』

コンピュータプログラム
コンピュータ、電子機器、ディスプレイ、紙、ほか
論文:63頁

091 → 展示室 2

栗原 渉 KURIHARA Wataru

『職場妖怪図鑑』

紙、無糊綴じ
本:297×420×50

092 → アトリウム 2

安井 彩乃 YASUI Ayano

『映像エージェントのアフオーダンスのデザイン-協調的インタラクションを目指して-』

ディスプレイ、赤外線カメラ、コンピュータ
可変、論文:143頁(82,303字)

造形構想専攻[映像・写真コース]

093 → 美術館ホール(上映)

182x

(許 多 XU Duo)

『蛾 MOTH E R』

映像
3分40秒

094 → 展示室 3

黄 麗穎 HUANG Liying

『彼のこと、今でも知らない』

インクジェットプリント、布プリント、アルミ複合板、角材、布、プロジェクター
可変、写真集:254×203

095 → 美術館ホール(上映)

苗 壮壮 MIAO Zhuangzhuang

『茜色の息吹』

映像
92分10秒

096 → 美術館ホール(上映)

魯 佳代 LU Jiadai

『○○・圏圏』

映像
6分2秒

造形学部通信教育課程

油絵学科[絵画コース]

097 → 展示室 3

長尾 のり子

(長尾 則子 NAGAO Noriko)

『生きる | 光の方へ』

キャンバス、油絵具
1303×1620 | 1303×1620

油絵学科[絵画表現コース]

098 → 展示室 3

東海林 希 SHOJI Kei

『The Miracle一躍る人の子らー | Ogre Battle一戦う人の子らー』

キャンバス、油絵具、アルキド樹脂絵具
1620×1303 | 1120×1455

099 → 展示室 3

千葉 Chiba

『収縮点 I | 収縮点 II』

ミクストメディア
970×1455 | 1455×970

油絵学科[日本画表現コース]

100 → 展示室 3

三上 今 MIKAMI Ima

『ファントム(あたたかい水を抱く) | ファントム(球体と球体のあいだ)』

木枠、ベニヤ板、天竺木綿布、高知麻紙、くすみ染料、顔料、岩絵具、墨、ほか、紙本裏彩色
1620×1620 | 1620×1620

油絵学科[日本画表現コース]

101 → 展示室 3

清水 伸一 SHIMIZU Shinichi

『集う | 舞う』

土佐麻紙、水干絵具、岩絵具
1455×1120 | 1455×1120

油絵学科[版画コース]

102 → 展示室 3

星野 志織 HOSHINO Shiori

『5円が落ちている | たくさんの朝 | 旅立ちの夜に | 地層 | そろそろ』

紙、油性インク、リトグラフ
490×660 | 880×630 | 920×685 | 880×630 | 490×660

工芸工業デザイン学科
[生活環境デザインコース]

103 → 展示室 4

洲貝 早織 SUGAI Saori

『麵鍋』

立体:128×256×182(2個)、146×286×182、149×242×182、132×228×182、147×226×182(2個)、142×226×182、パネル:420×594(4枚)

芸術文化学科[文化支援コース]

104 → 展示室 6

永井 真名 NAGAI Mana

『奄美・沖縄における女性祭司装束の造形的特徴に関する研究—ハブラドギンの造形と信仰的意図の関係性についての一考察—』

論文
54頁(34,271字)

芸術文化学科[芸術研究コース]

105 → 展示室 6

太田 耕平 OTA Kohei

『鳥取県による県立美術館の整備と《プリロ・ボックス》購入騒動に関する一考察—報道が創る地域社会の現実と、外部環境に左右される美術館整備の意義について—』

論文
68頁(20,369字)

デザイン情報学科
[コミュニケーションデザインコース]

106 → アトリウム 2

星 千枝 HOSHI Chie

『切/折 紙の三次元化を記述する』

紙、手製本
本:310×310×20(40頁)、310×310×30(56頁)、310×310×30(48頁)

デザイン情報学科
[デザインシステムコース]

107 → アトリウム 2

後藤 太 GOTO Hiroshi

『視点衝突器』

コンピュータプログラム
タブレット
可変

デザイン情報学科
[デザイン総合コース]

108 → 展示室 6

伊藤 達彦 ITO Tatsuhiko

『都合の形』

紙
本:210×148×8.6(85頁)

109 → 展示室 2

高田 友紀 TAKADA Yuki

『Sukimatchi—このまちの地域活動の困った!を住民のスキマでクリアするプラットフォーム—』

スチレンボード、紙、ディスプレイ、スマートフォン
パネル:1030×1030、カード:100×148、動画:3分25秒

- 展示スペースの都合により、出品者の多くは卒業・修了制作展時の抜粋または記録による展示である。本目録では卒業・修了制作展時の作品情報を全て記した。本展出品作品の情報は、会場に設置したキャプションを参照されたい。
- 各出品情報は学科(コース、専攻)ごと、出品者名の五十音順で記した。
- 各出品情報は出品者本人による記述をもとに当館が編集し、以下の順に記した。

出品番号

→(本展での展示場所)

出品者名 出品者名英字

『作品名』

素材・技法

サイズ

- ・ 作家名がある場合、作家名・作家名英字(出品者名・出品者名英字)の順に記したが、本人希望により作家名のみ記す場合もある。
- ・ 作品名について、個別の作品名に加えて、作品群全体にも名称がある場合、個別の作品名の前に記した。
- ・ メディアやジャンル等について、一部、素材・技法の前に記したものもある。
- ・ 素材・技法およびサイズについて、作品が複数点ある場合、原則作品名順に記した。
- ・ サイズについて、単位はmmで、[H(高さ)]×[W(幅)]×[D(奥行)]、[縦]×[横]、可変のいずれかで記した。そのほか、論文については[頁数(字数)]、映像については[**分**秒]など、作品形態に合わせて適宜記した。